続・11人いる！
東の地平 西の永遠

計器類チェック
アポーン型二〇九
小型ボート
よろしい
作動開始！

引力圏にはいる
空間手動に切りかえ
エネルギー全開
高度二〇〇〇!

降下65！
しぼれフロル！
いくつ？
二〇〇〇！
レバー!!
上げろ
それじゃない
ちがうーっ
どれーっ
ぶつかるーっ
フロルの機
地表に激突
大破
……大破
オレたち
…また
死んだの？
ああ
よーし
全員
ボックスから
出てこい
今日は
これまで

また フロル 0点？
週末きっと追試だよ
タダが補助として同席してて
？
だーってよなあ

みっちり しごかれとけ 一年生 でないと 宇宙に 出たら 即死だぞ
ここに タダトス・レーンはいるか？
あ…

ぼくです
青バッジだ！ 五年生だぜ

かりるよ
なにか 彼 ミスでも
!?
いや ヤボ用 ちょいと

わあ タダ オレたち いっしょの船で いっしょの宇宙に 行くんだ もんなー
がんば ろうぜ

元気いいー かわいいー あの美形
クラス メイト？
ああ フロル？

ぼくの 婚約者 です

セクション55

セクション55
来たわね タダ
わたしは アテナイ 勝利の女神
セクション 55
ぼくは 緑
ぼくも ここで 学んでる
ああ…
超能力開発コース ……
そう
きみが なかなか カンがいいと 聞いたのでね
さほど 役に 立ちません
それは 訓練しだいよ 手をかして
かたくならない ゆっくり 数を かぞえて…
……

…あ
あ…?
あ…?
王さま…!?
こんなとこで手にぎって見つめあって!
フロル!
なにしてんだよ

次の授業 なかなか 来ないと 思ったら!
超能力 開発よ なにか見た?
ええ…へんな 雪げしきを
そのうち わたしが手を かさなくとも 見れるように なります
来週から 二時間 この セクションを 受けるように
超能力者は すくないので 貴重なのよ
なんだ まっ赤に なって
いや アテナイ 女神だって 美人だなー
ホホ
オレも 受ける その ナントカ
あなたには 潜在的にも 超能力 まったくゼロ ムリです
ピー
ピー
キケンだ! 美人教師と……
それより ぼくの補助が ないきみの 操縦が 心配だ …また0点が…
ナニ
補助が ないぐらい……
エーイ
フロル マイナス 五十点!
タダは どうした だれか補助を つけよう

タダ　ターダ
キャッキャ
あなたのアパートどこォ
もっとお話しして
フロル！
まいったな
超能力セクションて女の子ばかし
どうだった授業
タダ！婚約者ってその子ォ
その子女の子？
男の子みたい！
わかった
オレもういい
女の子になんねい
!!

フロルベリチェリ・フロルは未分化の完全体

したがって成長後男になるか女になるかは本人しだい

で なんて
言ったんだ？
きみは タダ
なにも
言ってないよ…
いやァあんなに
おこるなんてさ
なにが気に
さわったん
だろう？
フロルに
同情するなあー
あいつ
きみ以外の男を
補助席に
すわらせないいん
だぜ
で今週
マイナス三百点
とってまた追試さ
へーえ？
…笑っただけで
男性宣言
してから
もててるぜ
フロル
ナニ
許せん
キャー！
キャー！
キャー
キャー
いやー
考えてみりゃさ
パイロットって
男のほうが
トクなんだ
よなー
シナロ
きみの補助 今
だれがやってる
？
四世だよ
ヤツうまいね
ウーン
おだやかで
ない
あ!?

あ　ガンガ
!!
!?
おかえり
いいものが
来てるぜ
王さまから
手紙だ
王さま…!
タダ　フロル
ガンガ　アマゾン
みな　みな
元気のことと思う
白号での入試テストも
今はなつかしい
思い出だ
たまには遊びに
こられたし
アリトスカ・レは食の月
歓待する
食の月
アリトスカ
・レは
雪だ…
…雪だ　きっとぼくは
近いうち　ここに行って
王さまに会うだろうな
予感がする
そいつはいい
招待に応じて
行ってこいよ!
国賓だぜ!!
食いほうだい
飲みほうだい
美女の侍女が
わんさ!!
ワー
ガールハント
してこいよ

び…美人がいるならオレも！
ガールハントに行ってやる!!
のった！
あ
へえアリトスカ・レに行くのか
そうなんだ四世
ガンガにたきつけられてフロルと…
きみの星のとなりだったよな
あそこ今は夏だいい気候さ
夏…？冬じゃ？雪は…？
冬はむかいのぼくの星のほうだな
ぼくと王さまの星とはアリトヌの母なる星をあいだにおいてめぐっている近い兄弟星なんだよ
もともとは同種族らしいんだ古い文化に多くの類似点があるので
アリトスカ・レとは国の言葉で〝東の地〟という意味だ
ぼくの星——アリトスカ・ラは〝西の地〟という

オー 行った 行った
カケようぜ! 再婚約か もー ダメか!
東の地と 西の地か ……
どんな 国かな… 食の月と いうと 日食か 月食が あるのかな
さー ガールハントだ
ドゥーズ 二〇〇二ステーション
今どこにいるんだい
ここで のりかえだよ
一日がかりだな 遠いじゃーん
あいつ最初 オレのこと イナカモンって 言ったんだぜ
よく覚え てるなー
アリトスカ・レ 行きの便? ああ 二時間後に 出ます 六六〇〇ポート 貨物船ね
貨物船

貨物船だって!!
今どき聞いたかよ!!
アリトスカ・レに行くのかね
え？ ええ
その服で？ 寒い土地だよ
ーでも夏だと聞いたので——
夏さ でも平均気温は16度Cをこさないね
風が冷たい まず帽子はいるね
なにをしに貨物船でアリトスカ・レへ？ ハハ
なにしにってこれでもオレたち正式な——
どうも!!
帽子買おう
なんだよ!
見た目どおりの男じゃないよ 商人ふうだけど
銃! 最新式のヤツ 内ポケット
人さらいのボスとか… こえー
かも
ほら帽子屋
フロル!!
寒い国へ行くんだぞ!
だって似合うんだもーん

アリトスカ・レへの貨物船これきりですか
二日に一本だね 西のほうには毎日出るけど
そんなに貿易少ないんですか
少ない 少ない 貧乏国だからな 古くてガンコで
すごいとこオレら行くんじゃないか?
覚悟しとこう
あれは?
西の地のほうへ行くんだ

アリトスカ・レだ!
ごらん! 星の影がうつっている!
へえ…

キラリ
王さま!

王さま！
おまねき ありがとう
元気そうだね！
ガールハント しにきたぜ！
パパ大臣だ
あ はじめ まして
遠方より ようこそ お客人
この いそがしい時に 友人なぞ呼んで 王さまにも 困ったものだ
！
アマン伯だ
ようこそ！
ム
このいそがしい 時に！
うわっ
ム

注　地球の場合、日食は右から左へむかってかけていきますが、アリトスカ・レの場合左側からおこります。

石!?
気にしないで くれ 城に行こう
古い国だ 外界からのお客を うとんじる者もいる
あ あちらへ
どうぞ
いそがしそうだね 王さま
なあに きみたちは わたし個人の 招待客なんだ 国をあげての 歓迎はできないが
形式ばらなくて いいだろう くつろいでくれ
みんな 大学では 元気かい?
元気さ
四世は?
いいよ だれかと ちがって 連続満点を 維持している
いてっ
王さま……
わたしも 行きたかったな

草原だね 芝麦だ
あれからかたいパンを作る

食月の六十二日は
さらに
食月の入り
食月の中
食月の帰り
食月の帰り後
という四つの
月に分かれる
コモフの城だ
長いま昼……
風の国
マヤの山に！
マヤの神に！
マヤの峰に！
そして
あなたがたの
それぞれの
国に
サケ
これ
なに？

遠来のお客とはこのコモフ市にはめずらしい!いや楽しんでくだされや
わたしはマヤ王バセスカの兄トマノ!
どうですアリトスカ・レは!
ええおちついたふんいきの…国ですね
さようマヤ王家の支配による伝統ある国です
古い国だが科学力は最新式ですぞ
おー美味
たべすぎるなョ
——失礼!おたくの宇宙大学には何人生徒がいます!?
え少ないです六万人ぐらい
この国の大学卒業者が六百人ですたった一つしか大学がないのですからな!!
なにを言う大学出の技術者はみな最新をほこるアリトス母星の鉱山で働いてる

だがその技術者がたりん
大学も学士もたりん
カネもたりん！
カビのはえた伝統!!

たり〜ん たり〜ん たり〜ん
パパ大臣！お客だぞ！

だれかトマノさまを寝所へ

アリトス母星では今年にはいってすでに三度衝突がおこってますな
西の地の鉱山と！

パパ大臣！

――お客人！貧乏国がカネを得るにはどうしたらいいか？

戦争です

戦争
西…！四世の国と!?

フウ
フロル?
ンガ
これは植物性の織物らしいな
光や冷たい風を入れないようにびっちり織られている
それに軽い
夏は外の光をさえぎって寝室の闇を作り
暗い冬は部屋の明かりをもらさず冷たい外気を入れないのだな

…陽が没しない
ってのは
不思議なものだな
フロル！
日食がおこるよ！
わっ！わっ！
オレ日食好き！
今何時？
朝の六時だ
そうかあ
覚えとこう
だいたいこの
時間だよね
いよう
お客人
わしは
トマノ
王の兄
あの人
昨日から
ごきげん
だよ
一年中かな
王さまって
へんな星に
住んでるね
ずっと昼
なんてさ
なれさ
まるで
見えないけど
アリトス母星が
あるはずだ
西の星の
影の中に
王さまの星は南半球
四世の星は北半球に
人が住んでいる
なぜと
いうに
アリトス母星の
見える地にだけ
雨がふるんだ
そうだ
ああ　じゃ
よっぽどの
荒地だな
西の地……
四世…
戦うも
戦わぬも
王さまの一言で
決まるのかい？

戦いはしない
見るがいい
コモフ市だ遠目でみると大学のある新市街と旧市街がはっきりわかれてるのがわかるだろう……
あのように人の考えもわかれている
パパは急進派だ
そして古典派もいる
宙港で石を投げたやからのようなね
パパのような急進派には古典派がまだるっこしいのだ
まるで地をはう芝麦のようなガンコさだからな
パパの言うのもわかるのだが…
この国は飛行の歴史をもたない
七百年まえドゥーズ大国が宇宙船でやってきた
それからだ
新しいものが次つぎとやってきた

だけど いちばん新しかったのは なんだと思う?
──世界だ!
世界だ!
だけど 古典派は 交易には 反対し
──マヤの 地を けがすと 言うのだ
急進派は 戦争して 勝つことばかり 考えている
パパなどは 西の地が 外交に 熱心なの を見て
西と ドゥーズが 結託して せめてきたらと 案じている
やれやれ!
帽子買ったとこだね ドゥーズ って?
ドゥーズは 大国だ
銀河国連議会が 目を光らせてる てまえ めだつことは なにも できんさ
アリトス母星でのこぜりあいは どうする
いつもの ことさ 西も東も 貧乏さ
戦争する カネもない
マヤの峰だ
明日はオーセの 家に行こう
オーセ?

西の地がなにを考えていますかな!
今日は法司長のオーセの家へ行く
リューマチ病みのじじい!
パパ
法司長だぞ! マヤの神につかえる者を!
先王が―― あなたの父上が病の床にあった五年間 わたしが摂政として国政をやってきた!
先王は賢明だった 兵力に力を入れていた王! 何度ももうしあげている
兵力は十分です 今が機 いっきに
西の地を!!
戦いはせぬ!
マヤの神はふぬけの王をくだされたのか!!

——わたしはなに者だ!
なに者だ!!
マヤ王バセスカ
だれがそう決めた!
マヤの峰
そうとも!
わたしが王だ!
待たせたな!
…王にはさからえぬ
いようパパ大臣!
わたしは王の兄トマノ!
ドゥマーを呼べ

おおマヤ王ようこそ
お客人のことは聞いております
元気かオーセ

これオナや王だ
ハイ

すげー！美人！
きれーい！びっじーん

フロル！
わーっわーっ

おほめの言葉ありがとうわたくしの養女でしてな
これもマヤの神につかえ次法司長の資格を持っております
え？

わたくしのなきあと法司長になる資格を持つのです八人の次法司長の一人です
えっじゃ…ひょっとして一生独身で…
もったいなーいこんなにきれいなのにねー王さまねーっ
ほほうパパがそう言っておりますか
わたくしから見れば王もパパ大臣も火のついたように熱くなっておられる
まあそれもよい急進派も古典派もいなければ
だが戦いはいけませんそれはマヤの峰の望むところではない
山に好ききらいがあるの
山は生きております

あのマヤの峰からおりる啓示をうけたものだけが王となる
啓示？山がものでも言うの？
と言われている
マヤの神の言葉を聞けるのは法司長だけだ
半年まえながの病で父ぎみがなくなられた時
マヤの峰に火がともった
火？
そうだわたしが〝祈りの塔〟でオーセと祈ってた時だ
兄トマノが〝祈りの塔〟に行っても火はともらなかった
それでオーセが峰の啓示にしたがいわたしをマヤ王とした
火…？火ね それは放電とかなにかの自然現象じゃないか
おそらくはね
だが火は王が王たる者である時〝祈りの塔〟に行けばいつでもともるのだ神の加護あれ
火が消えた時それは退位を意味する
超能力者！

オナ…!
それらは
かなたの地から
訪れたもので
あったようです
なんの話?
王家の
ご先祖の
話
西の地と
よく似た遺跡や
古語がございます
からな
記録によれば
マヤ王家の起源は
四千年の昔に
帰します
西の地の国家の
起源も同じく
西の地と
東の地の
国交が始まった
のは
つい七百年ほど
まえからですが
そのずっと
以前から
西の星に
人が住んで
いるのは
わかって
おりました

蝕甚ー日食の頂天日と新年が合図の日でございました
芝に文字火を放ったり
大砲をうったりして合図を送り合うこと二千年の昔に起を発します
まるで
おのが半身がかなたの地にいるように
この二つの星は一方の遠い地を求めたのです
心というものは不思議なものではでは出会ってよくなるかと言えば
七百年のあいだいさかいがたえません
貧乏国ゆえ そう本格的な戦争にならないのがまあ救いですかな
昔 地は一つでございました
太陽神の二人の息子は芝麦をひき馬を追ってともに仲よく暮らしておりましたが
ある日ささいなことから大ゲンカ
とめにはいった母親をそれと気づかずなぐりつけ
これを見ていた父ぎみ・太陽神の怒りはいいがたく
その地を二つに裂きました
そうも仲の悪い兄弟なら引きはなしてしまえと
オナ…

分かった地は
一方は東へ
一方は西へと
はなれて行った
母親は
二人の息子の
呼ぶ声に
どちらにも
ゆけず――
こうして
東と西へ
分かった地を
永遠に見守る
母親の化身の
アリトス母星は
夜とともに
涙の雨をふらし
同じく夜空に光る
兄弟の地も
悔いの涙を
ながすのです
さっき…
一瞬いきなり
はいってきた
オナの
思考
だれ知るでない
秘められた
王さまへのおもい
こうして
むかいあった
ふたつの星は
それぞれが
それぞれの
光となり
影となり
はかなたの地を
めぐるのです
東の地平はるか
西の永遠はるか

ドゥマー！
オーセの能力を
いつまで
封じていられるか？
オーセどのが
ねむっている
あいだなら
この計画を
すすめたからには
おまえも
一つ穴の
ムジナだぞ
わたしも
マヤの
司祭です
陽が
……

ワァ
マヤの峰に火が!!
あれがオーセの最後の力です
…ただの放電現象だ
火だ!
火だ!
どうしたんだこんな朝に!!
緊急通信でありますパパ大臣
アリトス母星22ポイントで西との衝突がおこっています!!
キャアアーアアーッ

おとうさま
おとうさま
だれかーっ
オナ!!
オーセ!!
オーセ!!
なに者が…!?
王さま!
いっぱい
あかりが
ついてるぜ
マヤの火だ!!
だれか
おらぬか!?
城へ
使いを
出せ!
オーセが
殺された!

戦争です
王！
西の地と!!

戦争…!?

ここはぼくが
見ている！
城へ行け
王さま
わかった
オレも
ついてく！

オナの
手あてを！

オナどのを
オーセ法司長の
殺人罪で
逮捕します

王！
アマン伯
王の名において西の地に宣戦を布告なさったのですか！
なに!? バカな！
パパ…！
マヤの火をごらんになりましたか
見た…！

ちょうど
トマノさまが
〝祈りの塔〟に
はいっておられ
ました
次法司長のドゥ
マーさまと
おりしも
オーセ法司長
急死の知らせ
これは
マヤの峰が

ドゥマーさまを
新法司長に
トマノさまを
新マヤ王にと
啓示を示し
たのです
トマノさまは
マヤ王の名において
西の地に宣戦を
布告しました!

わしは
マヤ王の
トマノ!!
恥を知れ

わ…!
フロ…アマン伯!!
ご謹慎を!バセスカさま
わたしは認めない!わたしが王だ!!
よろしい!新王への反逆!
バセスカさまを北の地下牢へ!

パパ！
オーセを殺したのも
おまえだな!!
オナです！
バセスカさまとの
あいびきを
オーセどのに
とがめられて
殺したのです！
オオォッ
オー
トマノさまが
新王に
なったと
バセスカ
さまは？
オーセの
娘と
いい仲
だったと
次法
司長とか
バチが
あたっ
たんだ
オーセ
さまを
オナさまが
殺したと
西が
戦争を
しかけて
きたとさ
トマノさまは
ぜったい
勝つと
言ってる
軍隊が
若いもんを
いいカネで
やとうとよ
う…ん

フロル!
んっ
あた!!
スキョン
フロル!!
タダ!!
わっ
おまえ生きてたの!!
なに言ってんだ
オナは!?
オナどのはどこかにつれていかれたらしい
王さま!
きみらまでまきぞえにしたな
すまない

王さまの息のかかった者はいないのか　配下に
わたしのほうが反逆者にされてしまってるんだ！
あの火をうまく利用したものだ!!トマノが朝から祈りなぞしてるもんか！あの酔っぱらいが!!
ドゥマー!!パパめ！
王さま!!殺されるのかい!?
わからん!!
まず四日後の戴冠式までは生かしておくだろうな
なぜ？
前王が新王に王冠を与えるしきたりだからさ
わかった！その時ナイフをかくし持って行ってドゥマーとトマノとパパ大臣をグサ！
そして次の瞬間にはわたしも八つざきか？

ううん
王
アマン伯！
あっ こいつだ オレをなぐったの！
おめしかえを
こりゃなんだ
囚人服だ
オナどのはどうした！
法院の地下室におられます
気を失って眠られたままです 目をさまされたら軍に引きわたします
眠ったまま!? それではオーセ殺しの自白もできまいに！
えらいでっちあげだな！ え！
なにをするんだ!!
しばりあげる気だ!! いやだ！
フロル！

失礼 バセスカどの
アマン伯! 待て! パパに伝えておけ! マヤの王はわたしだ!
マヤの守りを受けている真の王は死なぬ わたしを殺せはしないぞ!!
死にたい! 屈辱だ!
バカ! 死ぬな!
川むこうの黒の塔までおつれします

バセスカさまだ！バセスカさまだ
こんな時間にあんな裏門から！
おかわいそうに
―しっ！
フロル ごらん きみの好きな日食だよ
……
わ！
なに者!!
うわっ

ふせて！
川へ！
眠りガスだ 吸うな
もう おそい
無事か！ フロル！
無事だよ！
日が出てきた！
王さま！
タダ！ フロール！

礼を言うぞ！しかしおまえたちはなに者だ？なぜわたしを？
城内はババの手配の者ばかりこれしか方法が
アマン伯！
おまえか！
あなたが王だ最初から
オナも助けに行こう！
オナどのは法院内にいるかぎり安全です
あとはたのむぞ！
はっ！
どこへ行く？
わたしの領土の森の中古い別荘ですひとまずそこへ

信用して いいのかなー こいつオレを なぐったんだぞ
しつこいな きみも

殺されるのを 救ったつもりだが
パパの家来たちの 銃が目にはいらな かったか お客人

なんだよ
アハ 今ごろ ホッとしたんだ

あまり なれなれしく するなよ 王さまは チョンガー なんだから
それは わかっている

でも王さまが 王位をとり返さ ないかぎり この国じゃ ぼくらは 明日をも 知れないん だから…
うん?

この一瞬一瞬が 大切な わけ
うん…
カッテニシロ
ン おまけ
逃走中で なければ ハネムーーン みたい キャッ

伯爵さま
お父ちゃまー
おかえりなさい
王さま!
おいたわしいこのようなところに
王さま!?
そう
娘のマミーナです
よろしくマミーナ伯爵令嬢
相手ができた
しかし年の差が…

アリトス母星で起こった西と東の衝突は
東の地の正式な宣戦布告によって正式な戦争に突入した
第七十九次アリトスの戦い
21ポイント
28ポイント
31ポイント
ムー 兵力を増強したな
――東め！
このままじゃ母星の鉱山全部とられてしまう
停戦を要求して和平使節団を送ろう！
はい 毎度のことですね
西の地総議会議長
和平使節八名！
宇宙大学
王さまの国とぼくの国で戦争が起こった！
えーっほんとか四世！
王さまは？フロルは？タダは？
よくわからないぼくの伯父貴が和平使節団のメンバーになって行くらしい！

ドゥーズ大国
首都ドロワ
大統領官邸

アリトスカ
東西両国は
小国ですが
良質の宝石が
多く産出
されて
おります
――もし
この国を
のっとりたければ
今をおいて機は
ないでしょう

…わかった
秘密情報部
長官ゾンブル
まかせよう
極秘にやれ
国連会議に
気づかれたら
うるさい

確かに
大統領

西の地の
和平使節団は
いつ東の地へ行く
二日後です
ゾンブル長官
今
両国は
停戦中です
八人か

…殺せ！

アリトスカ・東西と母星軌道略図
アリトスカ・レ(東)における
季節カレンダー
(日食)
西の地
アリトスカ・ラ
アリトス母星
(新年)
アリトスカ・レ
東の地
太陽は北東より昇り 北西へしずむ 南極はまだ夜がつづく
太陽は北東より昇り北西へしずむ
太陽は東より昇り西へしずむ
太陽は東より昇り西へしずむ
太陽は南東より昇り 南西へしずむ 南極はすでに昼
太陽は南東より昇り南西へしずむ
太陽
夜(冬) 128日
夕 128日
昼(夏) 128日
明 128日
夜月(64日)
夕月(64日)
昼月(64日)
明月(64日)
西(新年)
(夜がつづく)
(昼がつづく)
東(日食)
一日 24時間
(自転方向は地球とおなじ)
一年 512日(8か月)
一か月 64日 入り……16日
中………16日
帰り……16日
帰り後…16日
東西ともに自転軸の軌道面に対しての傾きが1～2度であるため 長期の昼または長期の夜を生ずる時季がある
アリトスカ・レ
百科辞典

タダもフロルも王さまもずーっといるの？
いますよマミーナちゃん
なにかして遊びましょうか
オンマさん！
おお遊んでもらってるのかよかったよかった
早くに母親をなくしてふびんで…近くに年ごろの友人もおりませぬし
しかしわたしは遊び相手にここにいるのではないぞ！
まず
どどん
ドゥマーをぶち殺しパパをぶち殺し
トマノをぶち殺す
――ようなことはしないで

王もお客人もご不自由ではありましょうが今しばらくはこの館でごしんぼうを
しかしいつまで!
今は国中が戦争の方向にむいていますなにせパパ大臣が五年もまえから計画していたことですから
もっかのところは和平交渉です
明日西の地から八名和平使節団が来ます
交渉がうまくいけば
戦いがおさまります
うまくいかなかったら
戦いがつづきます
戦いが長びけば…となりの大国ドゥーズがでてくる!
ドゥーズがでてくれば銀河連邦もだまっちゃいませんな
銀河国連邦
まさかそこまで
そこまではいかないでしょうがとにかく和平交渉の結果をお待ちください
そうだ!和平使節団をさらって人質にとるってのはどうだ!
それでパパを…
王!!

和平使節団は武器も持たず一国の運命をせおってくるのですぞ
この崇高な使者に卑劣な手だしをしたら
マヤの火は二度とともりますまい！
マヤの火か伝統と伝説にささえられたなんと古風な国だろう
早く帰ってね—
コモフにいってまいりますごしんぼうを
……ここって日食が見えないんだね
つまんないや
太陽が低い
コモフより赤道寄りなんだよ
寒いね
寒い
寒い土地

ローンおじさま
チュチュ 花のしずくでスカートがぬれるよ
おやおや わたしに? チュチュや
そうよ のっぽのおじさま 東の地にゆかれるんでしょう?
お気をつけてね
わたしは大丈夫さ 和平使節として行くんだからね
戦争なんて早くおわればいいのにねえ ローンほんとにねえ
おわりますよ ねえさん
このあいだ宇宙大学へ行ってるソルダム兄さんに手紙をかいたの
四世か 返事きたかい
兄さんも心配してたわ ほんとにほんとに気をつけてね
ああ ありがとうよ おちびさんや

よいですかトマノさま！
西の和平使節団にこう言うのです
今こそ東西両国は一体となり…
一体となり…
対ドゥーズにそなえるべきだ！
西がイヤだと言ったら？
言わせません武力にかけても!!
和平使節が来るそうだ
今度の戦争分がいいじゃないか
トマノさまが王になったおかげだよ
そういえばまえの王バセスカさまお逃げになったって
そりゃあねえ
まあ…
は
バセスカはまだみつからんのかアマン伯
うーむきっと古典派の反逆分子がかくまってるにちがいない！
西の和平使節団の船が着くまでポートは使用中止です
コモフ宇宙空港
空港待合室こみあっておりますおいそぎのところもうしわけありませんが今しばらくお待ちください

今しばらくお待ちください
もうじきだな
東の地マヤの名においても
西の和平団を失礼のないよう出迎えるのだ
はっ
コンコン
……
ガチャリ
だれだ
…東の和平団の部屋かね
む？
ここは特別室だ一般の出入りは…
……
なにも…

だれ…
む…！

いそげ！

マントをはいだらロッカーにほうりこめ！二時間は眠ってる

西の和平使節団が到着しました！

うむ

ご到着を
歓迎いたします
西のかた
お出迎え
感謝します
東の地のかた
使節のカギを
八人の命を
おあずけいたします
東の地の
名にかけて
確かに
受け取りました
和平使節だよ!
西と東の
和平使節だ
りっぱなもんだ
では
さっそく
城へ
王がお待ちです
うむ

低空飛行にはいります
ウム
立ってうしろを向け!
なにをなさる和平使節ですぞ!東のかた

ズーン
立つんだ!!
さあ はしから 一人ずつ おりてもらおう
なんだと?
いったい なぜ! 正気か!?
おまえ からだ!!
隊長!
和平使節に 手を出して ただですむと お思いか 東の者!
ワッ
ド・マン!（こいつ!）

ドゥーズ語だ！
ドゥーズ!?
ネ？（なぜだ？）
パ・ダ・マン ドガ？（なにがほしい!?）
ジ・デ（死）
はいれ
このままではすま…！
オ…オ
次だ！
次っ！
……
……
アリトスの怒りを見よ ドゥーズを許すな
アリトスの怒りを見よ！

よく飛ぶな
電子弓だ
トリでもうって
みようか
あれ
アマン伯
かな?
ちがう!!
あの型は王家の
専用機だ
かくれろ!
ヒコーヒー
ひどく
低く飛んで
るぞ!
あ…ああ!?

白いトリさんが落ちてくるわ！
白いトリさん！見てえ！
タダ!!
ザ
マミーナを館へ！フロル
わかった！
人だ！
なに!?
旋回しろ！低く飛んで撃ち殺せ！
…あ!!

タダ!?
旋回してくるぞ
タダ!!
トマレーッ
トマレ
トマレ
!!
待て
あれは…
まずい
あれは前王だ!

うわっ
どうした
顔を見られたのか!?
いいから
この場から
はなれろ!
人が来る
バセスカさま
王
銃を落とした!?
バカが
どうする気だ
あとで
取り返す
北へ向かえ
残りを
ほうり出してからだ
なに者ですか
今のは!?
わからん!
銃を落として
いった
タダ!
タダ!?
返事をしろ
どこだ!?
ギクッ
ザザッ

とまっている
……
チョイ
ドガ
ド
ガ
アリトスの
怒りを
……
ドゥ……
……
おい！
おまえ！
しっかり
しろ！
だれに
つき落と
された!?

タダ
タダ
タダ

気がついた
気がついた
見ろ
息を
してるよ

大丈夫か?
おまえ
カチン
カチンに
なってた
んだぞ
ああ!
落ちて
きた
白い服の
男は?

空中に
ういてたよ
でも銃ですでに
撃たれていた
……死んだ

ドゥーズの
銃だ

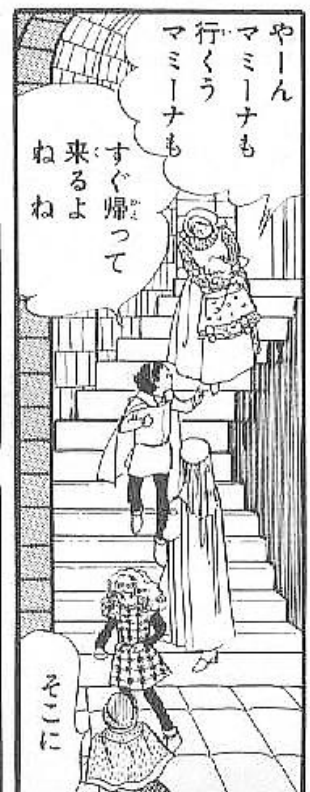
最後の
言葉が
〝アリトスの
怒りを
見よ〟
〝ドゥーズを
許すな〟
これは
われわれの
復讐を誓う
言葉だ

西の和平使節だ
この者は
和平…
使節!?

和平使節が
殺されたのか?
ではいったい
どうなるんだ
!?
どうなる!?

マヤの誇りは
地におち
戦いはつづくさ
和平交渉は
決裂だ!!

このザマはなんだ!?
和平使節が城へ来ないと見にきたら
八人ともマントをはがされて
わ…わかりませんへんな男たちが…
西の和平使節がさらわれた!?
アマン地方の農民が…和平使節の遺体を畑の中でみつけたそうです…高度からおちてきたとか…
もうたいへんです記者団やら市民が…おおぜいなにが起こったのかと…
……なんて……ことだ……!!
これでは戦争はさけられぬ
しかも不名誉な戦争だ!

アマン伯か
!
…すぐに全国的なニュースになります…一大事件ですアマン領にも人が来ますそこにいるのはまずい
わたしにどうしろと言うのだ?
地下水路を通って北の雪の城まで行ってお待ちになっててください
いそいで!
王さまどこ行くの
やーんマミーナも行くぅ
マミーナもすぐ帰って来るよねね
そこに
地図はボートの中にこの時期にはだれも住んでいない狩り用の城です食料や燃料をそなえてありますから
わかった
行くぞ
ン
大丈夫かタダ
おまえ超能力があるのはいいけど あとがこれじゃ
お気をつけて!

ゴボゴボ
ゴボゴボ
寝ちゃったよ!
ぐー
いいさ
わー見なよきれい
きみはのん気だな……
アマン伯のお館に軍隊と警察が行くよ
なんてことだろうね西の和平使節が……
いったいどうなるんだろう
だれだか知らんがめちゃくちゃなことしたもんだよ
戦争がおわると思ったのに
いったいなに者のしわざだ!?
わかりませぬ大臣
せっかく停戦をして武力をタテにうまい条約で西を配下に入れようと思ってたのに!
は大臣

王は無事に逃げられたか
はい さきほど
これが アマン領内で みつかった 遺体か これだけが きれいな かっこうを している
これでは わが軍は いかに戦力があろうと 士気がまったく あがるまいな 犯人はだれだ!
は 大臣
ねーねー 行くの マミーナも
どうしたね マミーナ
タダと フロルと 王さま マミーナ おいて 行っちゃったの
マミーナさま!!
大臣! 奥の部屋から 囚人服が ……!
…アマン伯!!

アマン伯!!
のろしをあげるボタンをおせ！ばれた！
伯爵
みんな地下水路から逃げろ
逃げろ
なんだ
のろしです！近くに仲間がいるんじゃ…
アマン伯どこだ
ヤツがバセスカとグルだったんだ
そうだ！和平使節を殺したのもバセスカとアマン伯の一味にちがいない！
王位を追われたハライセにやったんだ!!
みんなヤツのしわざだ!!

長い水路だね
まよったんじゃ
ないのか
いや
ゴボゴボ
ゴボゴボ
そら
出口だ
……
そうだ　もう
赤道を
こしたのだ
もっと北へ
北へ行く
……王さま……！
王さま
太陽が
しずんでいる！
北へ
北へ
太陽のない
夜の国だ
住むものの
いない
国だ

あの和平使節団が殺害されました
犯人は王位を追われて気の狂った前マヤ王とその一味だということです
チュチュ…
たいへんなニュースが…
東の政府はこの一事に深い陳謝を示し
遺体をていちょうに西の政府へ
…ローンおじさま!!
大丈夫だよ
大丈夫だよチュチュや
ローンおじさま…!!
…四世ドリィたいへんなのくわしいことは電話では話せないけど
母さん?
…おじ…
おじさんが…?

東と戦争だ戦争だ
東のアホ恥知らず
バセスカをわたせ和平がなんだ
戦争だ西の政府はなにをしている
怒った市民のデモが
戦争する財力はわが西の地にはないんだ
和平のためにもさわぎの原因のバセスカをさがし出さねば！
もちろんわれわれも東の名誉にかけて
バセスカをさがしだす！
サッ
東も西も戦せん恐きょうだな
ドゥーズも
顔を見られ銃をとられたからには
ヤツを殺さねば
いそげ！
バセスカをさがせ!!

落ちた陽の空に残った色が…消えていく
オナは…どうしているだろうか
まだ法院の地下で安全に眠っているんだろうか
…暗くなってゆく
なんだかとてもとても遠くへ行くみたいだ…
なあ王さま
帰って来れるんだろうか

あ……!
…雪だ!
くん

雪だ！
雪だ！
タダは雪の国に行くんだと言ってた
ああ　この季節は　ちょうど赤道付近にできる雲が　風にふかれて　やや北へ飛び　雪をふらすんだ
この雪の地には白毛が住み　人びとはそのケモノを狩るのだ
白毛？
大きなケモノで　毛皮は服に　肉は食用に　ツノは細工に　使われる
そういった白毛を狩る移動村落が
この季節にはほうぼうにできるのだ
くぅ
ど
うわっ

……
目がさめた
…なんだ？ここは？
タダ！
フロル！
すげ…ふう…王さまは？
どっかそこらに飛ばされたんじゃないか？

うわっ
ズズズ…
バウウ……
ここは危険だ
王さま…まさか谷の下に!?
王さま……
王さま
王さま

これじゃだめだ!
雪がやむまで
雪あなでも
ほって……
なにか近づいて
来る……
なに?
ハシッ
大きいものだ…!
ハシッ
ハシッ
ハシッ
ハシッ
ギエエ
シーーッ!
ムク

よそもんだな
どうしたい
こわがんなや
白毛狩りの
もんじゃがな
白毛？ このおっきいのが？
さっき聞いた北の民族だよ
助けてくれ！ ぼくらのつれが一人見えないんだ
つれ？ さっき雪ん中うまってた若いヤツかや
おい
あ！ それ その若いの！
こごえて気を失ってるだけだ
あんたらも歯の根合っとらんなあ
ハア
カチカチカチ
まあ来いや
う…どうやら助かったらしい

いいのかなあ
オレら
逃亡中だろ
いいから
知らんふり
しよう
王さまだとは
気づいてない
ようだし

どうだってい？
いんや先生が
言ったとおり
よそもん
めっけたでや
まあ
はいれ
先生？
わ!!
火だ
火だ！
パチ
パチ
パチ

あ〜〜〜っ
あったかい〜〜〜っ
生き返る
オ〜〜〜ブルル
やあ
先生

ようこそ
王さま
タダ
フロル

わたしのレーダーにうつったんでね
狩り小屋の連中にたのんでさがしに行ってもらったんだが
レーダー？
あんたはなに者だ!? ぼくらの敵か味方か？
タダ
はあメシかっくらうかや
まああったまってメシを食えよ
素朴な人びとばかりさここは
……
銃しまえよ礼儀しらず助けてくれたのに！
いい銃だなドゥーズの一流メーカー品だ
きみらのことはラジオで三十分おきに放送されてるよ
東も西も協力して和平使節殺害犯バセスカとアマン伯の一派をさがしています

パパの…
パパ大臣のしわざだ!
わたしを…
おとしいれたうえ…

わたしは
…コモフへ
帰る
こんな
汚名には
がまん
できん
王さま!!

殺され
るぞ!!
殺され
てもいい!!

それは
困る
今あんたが
死ぬのは
困る
嫌疑が
かかってる
のなら

晴らすのが
先だろう

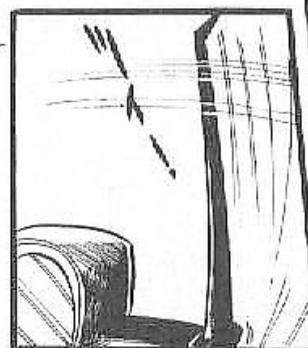
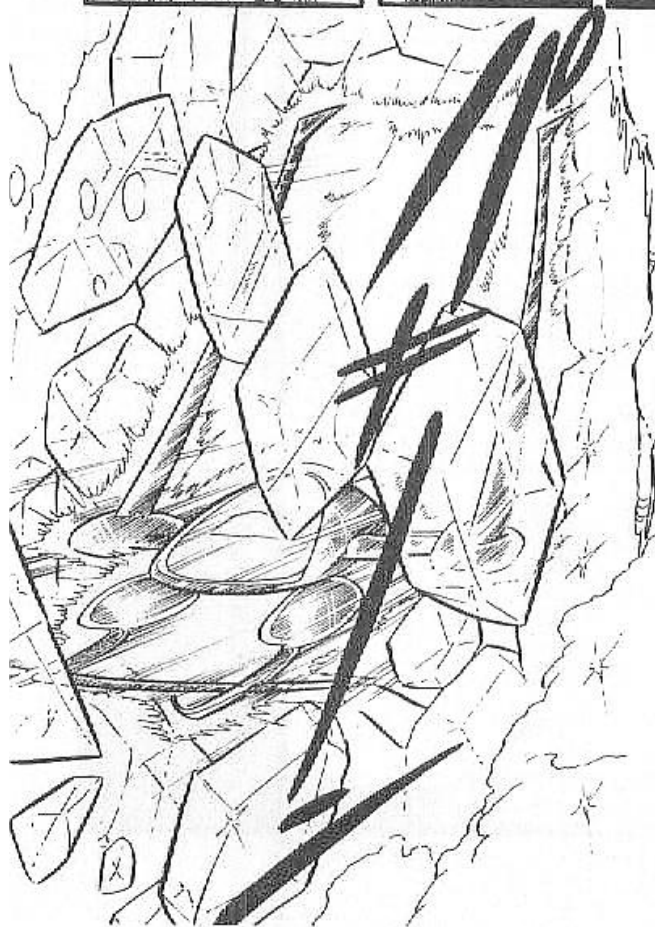
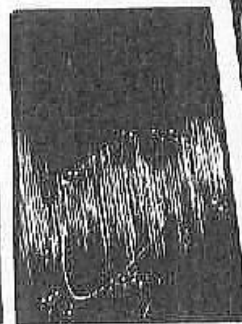
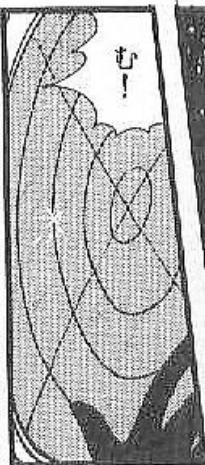
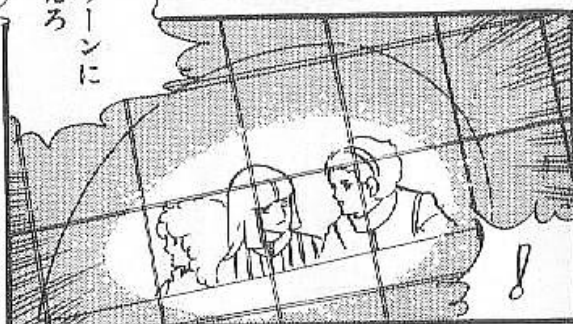
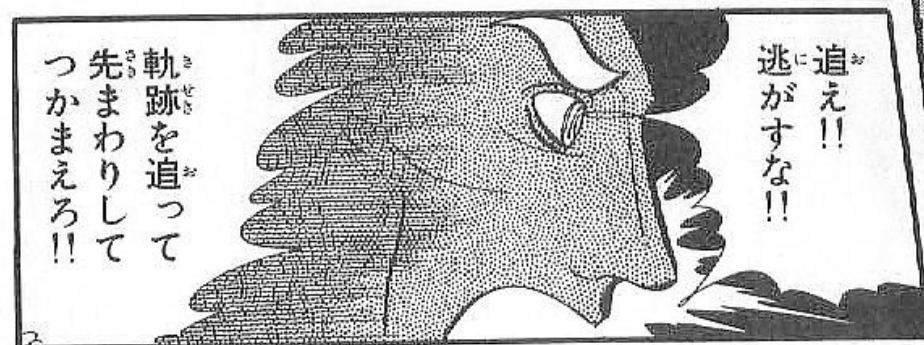
……
あんたは
だれだ?
こんな
雪山の中で
われわれの
ことをよく
知ってたり

レーダーを
持ってたり
感度のいい
ラジオを
持って
たり……

わたしは
赤毛
通称
火消しの
赤毛

銀河連邦
から来た
〝火種と火消し〟の
ものだよ
スパイ

そんなものが
わたしの星で
なにをしている
そりゃ
ここは
あんたの国だが
おこんなよ王さま
この人助けて
くれたんだから
あんたが
殺されたら
東西二国の
均衡がやぶれ
かならず戦争が
始まるよ
今 戦いが
中止になってるのは
東西ともに
あんたを追わんと
メンツが
たもてないからだ
そしてその
戦争には
かならず
ドゥーズが
出てくる
そうなるともう
あんたの星だけの
話じゃないだろ
銀河連邦だって
心配するさ
カラ
ドゥーズが
出てくるって
どうして
わかる?
わたしは今は
こんなとこに
住んでるが
情報集めの
プロなんだよ
そのプロが
言うんだから
聞きなさい
今は
逃げなさい
王さま
――どこへ?
もっと北へか?
もっと北へ
北へか?
宇宙大学がいい

宇宙大学!!
そう　あそこなら安全だ
おいで　小型機の用意がしてある
今たいへんな時なのに国をはなれてそんなに遠くへは行けない
たいへんな時だから行く必要があるんだよ
あなたがここにいてもなにもならない
あなたは一人ではなにもできないだろうが
きみ少しふらついてるな
操縦ができるか?
大丈夫です
ドゥーズに気をつけろ!
キャッチされるかもしれないから

む！
東の赤道近くから
へんな機が宇宙に
……高性能です
機種は!?
わかりません
──小型機です
スクリーンにとらえろ
！
マヤ王バセスカだ！
それと宇宙大学のお客!!
アッ
ワープしました！
追え!!
逃がすな!!
軌跡を追って
先まわりして
つかまえろ!!

第一
第二
ワープ
これでいい
このワープから
出たらもう
大学はすぐさ
きみらを
遊びに呼んだ
のに――
世話のかけっ
ぱなしだな
あの男が
言ったように
わたし
一人では
なにもできな
いんだ
なに
けっこう
楽しんだよ
そーそー
そら王さま
大学行きたいって
言ってたろ
いいチャンスじゃないか!
ついでに少しハネ
のばせばいい
事態が
好転したら
火消しの赤毛
から　きっと
連絡が
あるよ
そのあいだ
あせらず
じっくり
作戦ねろう
ドゥーズに
銀河連邦か!
わたしの星は
……
小さなただの
貧しい星なのに
争いばかりが
大きくなってゆく
さ
ワープから
出るぞ
あれ?
……正面に
船が?

ギクッ

なんだ!?
ドゥーズだ!! 衝撃波だ 分解するところだった
タッチの差で逆もどりのワープにはいったんだ
タダ!!

今のショックで急速に疲労が……眠い
わーー起きてーっ寝ないで!!

タダ!!
きみやれ
オレ0点なのに

できるよ…ならったところだ…大学にめいっぱい近づいてワープから出れば…小型だから可能だよ…

わーん
タダ!!
ガクガクガク
………
しーー
ヘタに出りゃ
また衝撃波
くらうな
…
ちょっと待て
いっそ…
フロル
あんまり
大学に近いと
…ワープから
出たとたん
教室に
ショートツ
とか……
地面に
ゲキトツ
とか…
フロル!
いい
天気
ですなー
まったく
よし!
いちかばちか
だ
フロル!!
うるさい
お祈りでも
してろ

ぐわあぁ
1. 主任室
フロル
ベリチェリ・
フロル
きみは初級もマスターしとらんくせに
あんな危険なワープはやっちゃいかん
失敗してたら学校が半分ぶっ飛んでたぞ!!
中庭じゅうのガラス三千枚が衝撃で分解した

よー
まいった
まいった
しかしよく
帰ってきたな！
すー
超能力の
使いすぎね
物体を
空中で
とめたって？
あきれた
ハイクラスの
念動力
じゃないの
これじゃ
二 三日は
眠ってるわ
0点とってた
きみが
よくやった
よくやった
王さまの国
たいへん
だってね
ああ
わたしは
逃避行の
最中なんだ
四世は？
…それが
…家へ
帰ってるよ
いれちがいで
なんだよ
はっきり
言えよ！
四世の
伯父さんが
西の和平使節に
はいっていたんだ
……
国へ帰つて
そしてわたしが
犯人だという
話を聞くに
ちがいない！
彼は
この戦争を
そしてわたしを
どう考えるのか？
マヤ王 バセスカ！
至急 第一管制塔へ
来られたし

ローン伯父さまの遺体だけまだみつからないんですって…
わたしが男だったら…!!
東の地へ行って八人の和平使節を殺した王さまに八太刀の刃をあびせてやるわ!
わたしたちのうらみ悲しみ思い知ればいいい!
チュチュ
兄さんはくやしくないの? くやしくないの?
どうしてわたしにそうだと言ってくれないの? どうして困ったような顔するの? なにを考えてるの?
考えてることって帰ってから いっさいのニュースを聞いたけど
まさか まさかと思う気持ちのほうが強いんだ
短気なほうだったが……礼節は特に重んじる人だったから
いったい王さまは今ごろどこに
宇宙大学国へ前マヤ王バセスカの引きわたしを要求する

こちらはドゥーズの協力を得てパセスカを追って来たアリトスカ・レとアリトスカ・ラ
くり返してもうしあげる

引きわたしを要求する！反逆罪と殺人罪だ！
よう王さま！
すごいじゃないか三つの国がきみの身の代を要求してるんだぞ

アリトスカへ引きわたしには応じられない
その者は当宇宙大学の学生である

今年の入学試験にベストの成績で合格した入学は保留になっていたがこのたび正式に入学した
なんだとバカなおとなしく引きわたさないと武力でおしこむぞ

武力！おおどうぞ宇宙大学の最新設備を知らんわけじゃあるまい
なにか青い膜が大学惑星をつつんでいるバリヤーをはったな！

わが国の学生は当大学統治下地球総合政府のもとに勉学の権利を絶対に守られている
なにが起ころうとおわたしするわけにいかぬお引きとり願おう!!

大丈夫きみはこの大学にいるかぎり安全だよ

安全…
ほんとうになんと安定し統制のとれた学問の国か
わたしの国とは……雲泥の差だ

手出しができん!
宇宙大学国め! 爆弾でもしかけられないものか!

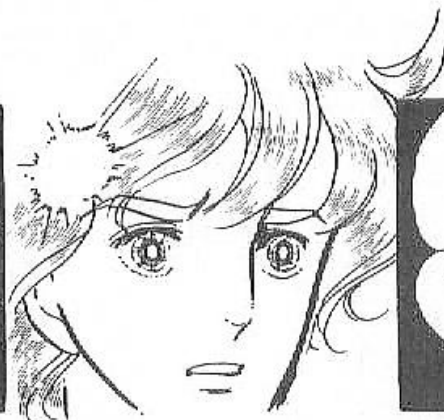
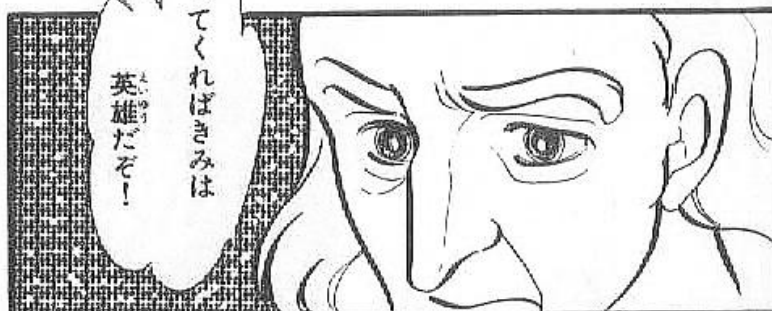
ムリですよゾンブル司令 入国管理がきびしくて
しかけられるでしょう爆弾ぐらい
だれかを大学国に潜入させればいい

一人いますよ
わが国ドゥーズはおたく西とは東より親しいおつき合いをしてきました
同情心と正義感からもうしあげるのです
あの男さえ殺せば…

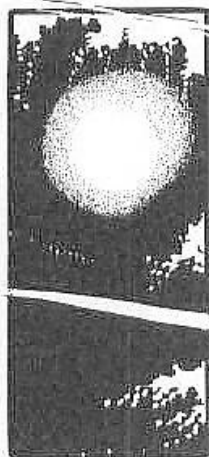
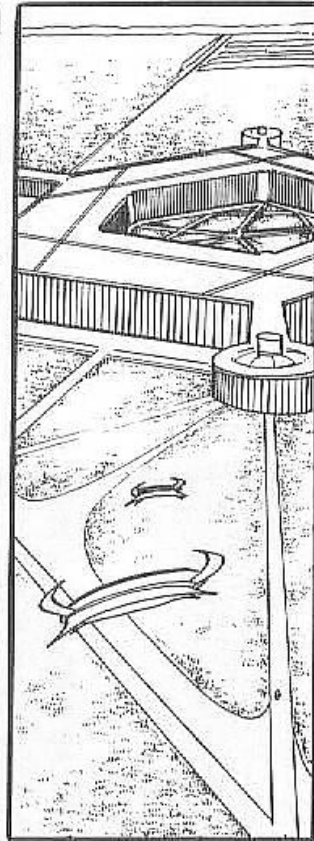
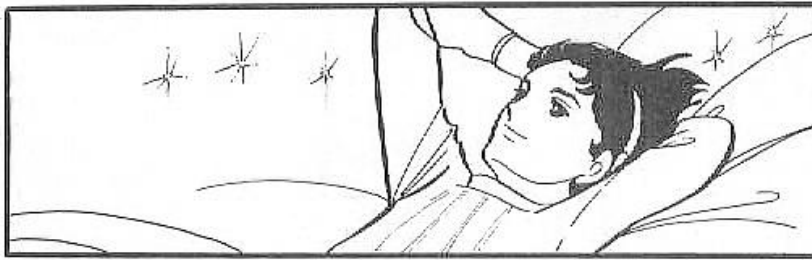
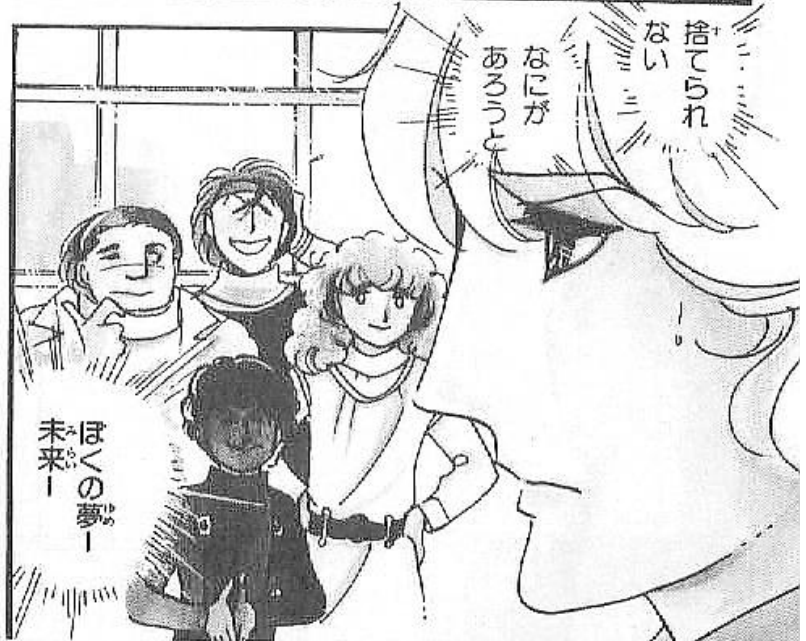
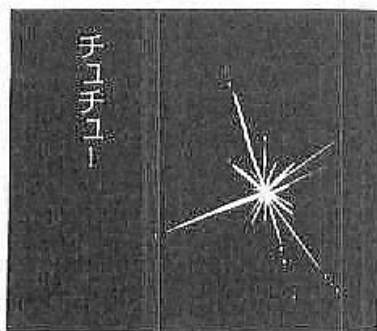
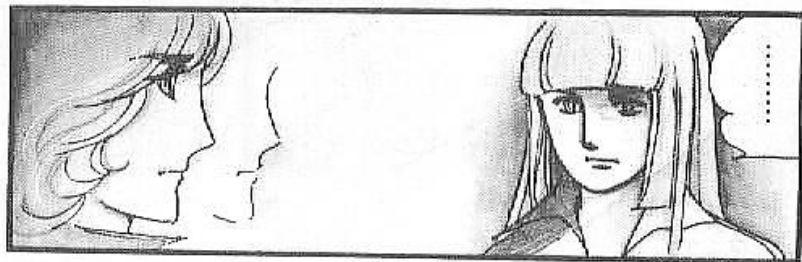
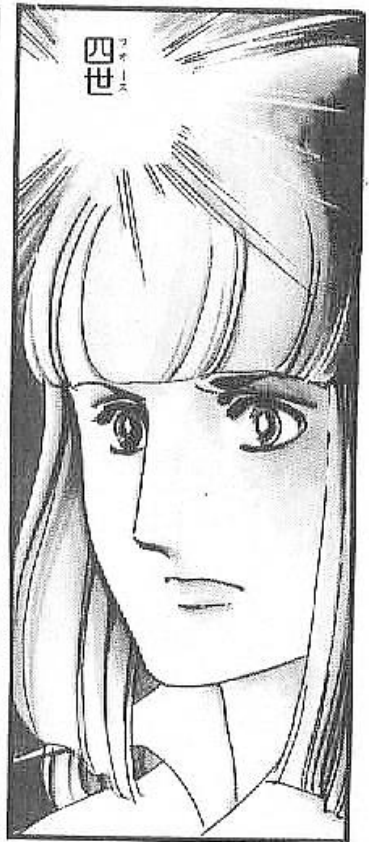
ドゥーズは西にだけいくらでも安く武器をお売りしますよ
一人……とは

宇宙大学の生徒ソルダム四世のことか

ほんとうに不幸な事件であったソルダム四世
は

きみの伯父の無念をはらす方法が一つだけある
ソルダム四世
これは総議長のわたしからないないの国家指令でもある
バセスカは今 宇宙大学にのがれている
手が出せない
…だが
きみならできる
宇宙大学!!
王さまが!
そうか! おそらくタダとフロルがつれて来たんだ
このクスリでバセスカを殺せ

家族のことは心配するな
きみが役目をはたして帰ってくるまで国家がめんどうをみる
失策は許されない……！
バセスカを殺さぬかぎり
東と戦争をしたがってる市民を説得できない！
戦争はさけたい！
…王さまを殺せば戦いは起こらないのですか
そうだ！
王さまが和平団を殺したのですか
そうだ！
王さまが今度のなにもかもの原因なのですか
そうだ！
帰ってくればきみは英雄だぞ！
大学へ帰るの？
行かないで！

行ってしまわないで…!
心細いのとっても……
大学
なにもかも…
ぼくの友人たち
ぼくの将来 夢
パイロットコース
行かないで…!
すぐもどるよ
すぐもどる…から…
…月のまひる
あなたと
行こう
しらじらと
うかぶ
白い道を
あなたと
帰ろう
帰ろう…
遠くたまゆらの
わたしを呼ぶ
歌のもとへ
今こそ
帰ろう

フン なかなか 顔色いいじゃん
どう もう 頭すっきりしてる？ まだ 眠い？
いや もういい 寝た 寝た
おまえの 超能力ってさ あとが たいへん だよ
ヤア
王さま 社会学 とってるって？
むずかしい だろ
わたしの 暗記力を 知らないな
四世…!!

四世
やあ…
やあ
四世…
おかえり
やあ
やあ
ようその…
元気そうだね
やあ
……
捨てられない
なにがあろうと
行かないで！
ぼくの夢！
未来！
チュチュ！

よかったじゃないか四世が好意的で

きっと逃亡中の王さまに同情したんだよ

戦争とはいえ王さま個人にウラミはないいんだもんな

それに学校ではみんなおなじ学生なんだから

王さまを殺せ

食事の皿にまぜればいい

ドクがきくころにはぼくはとっくに

国へ向かう船の中だ……

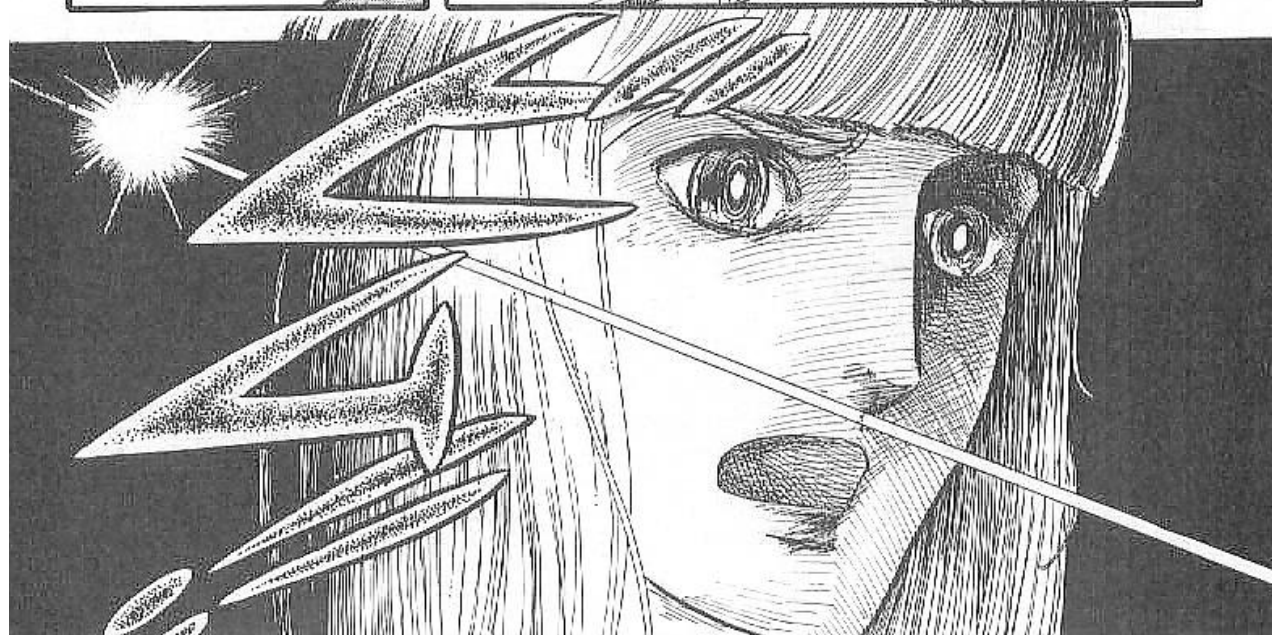
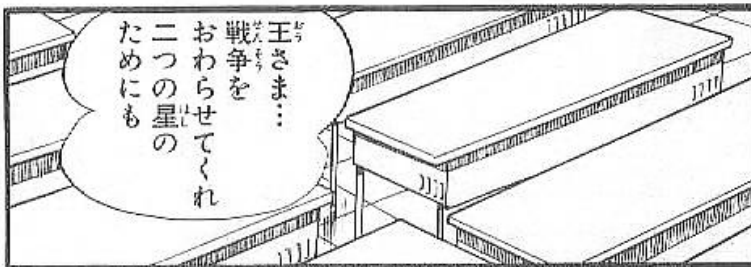
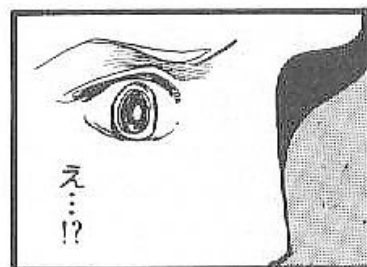
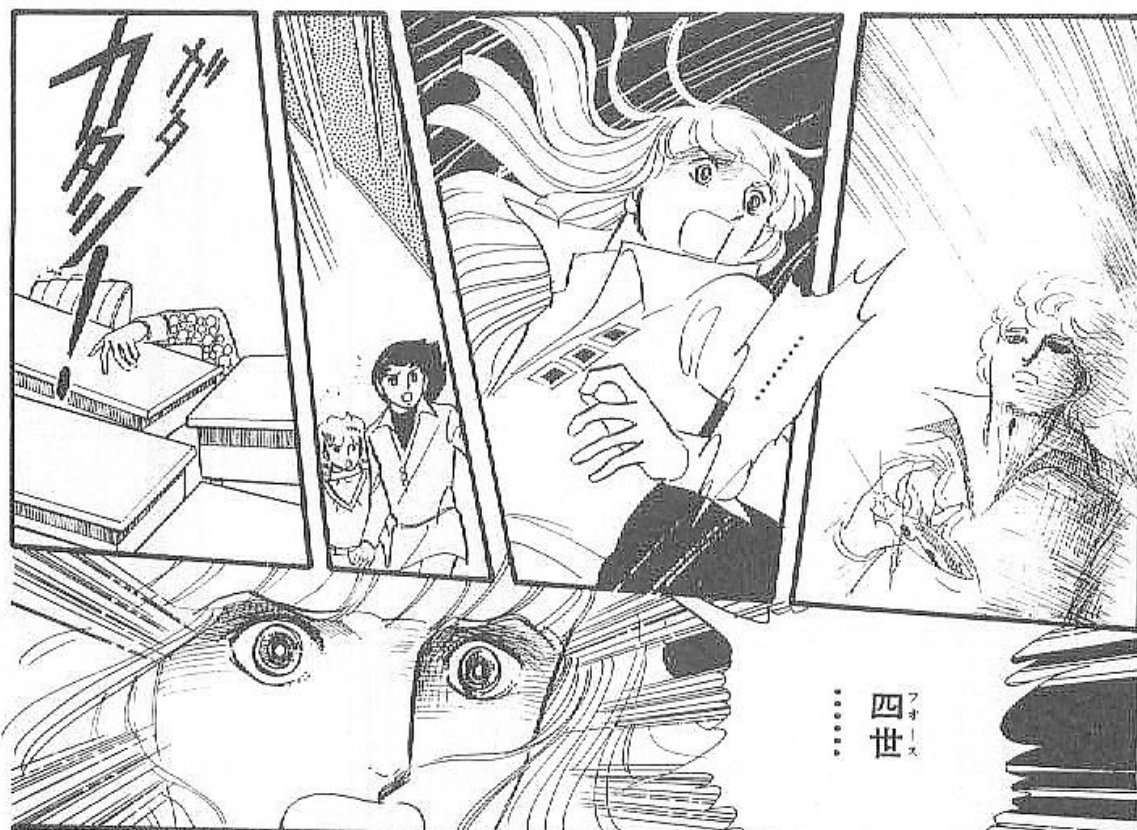
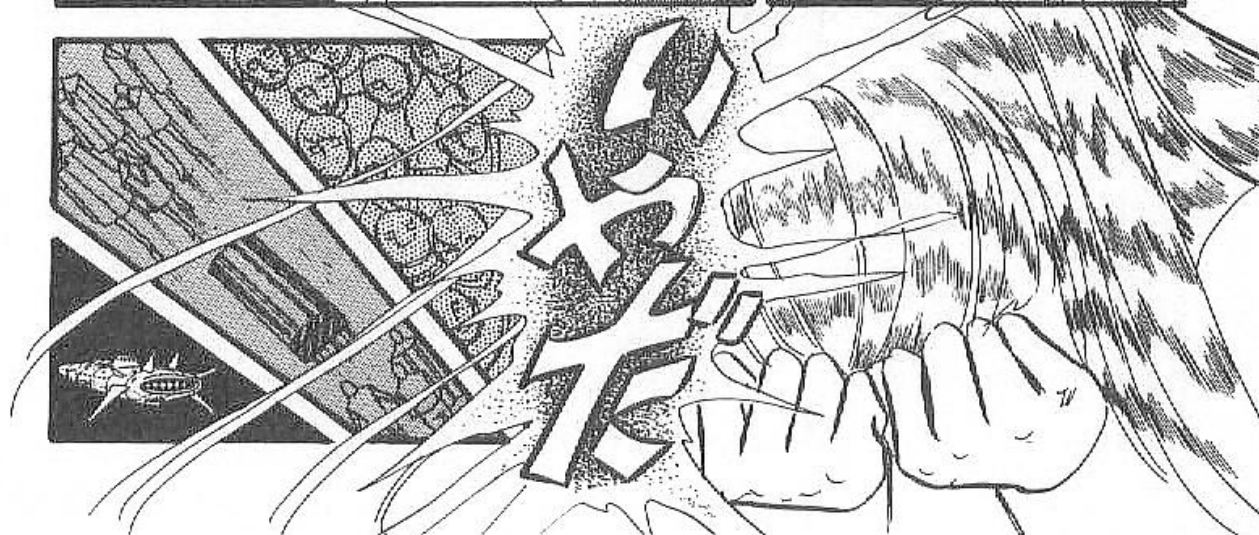
家族を人質にとられた

万が一ぼくが王さまにねがえらないためだ

このままで
四世の気持ちが
すむはずはない
だろうな…
なにごとも
なかったが
──戦争…か!
バタン
王さま
ぼくは銃を
持っている
ふりむかずに
聞いてくれ
四世!
──ぼくは
きみを
殺さなけりゃ
いけない
ぼくの
使命なんだ
──!!
冗談じゃない

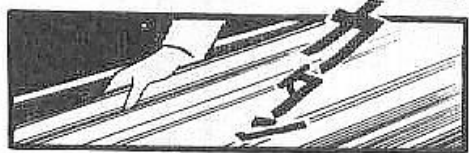
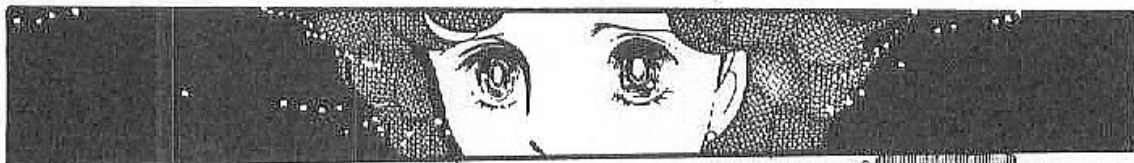
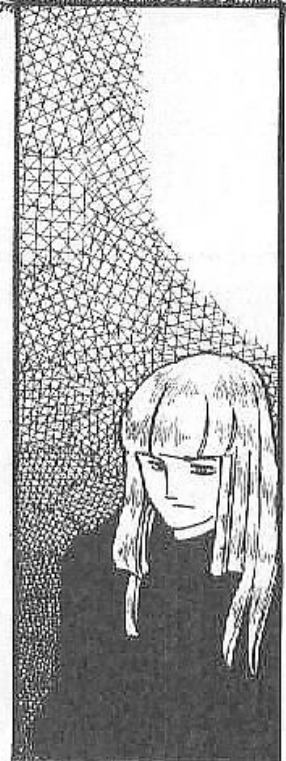
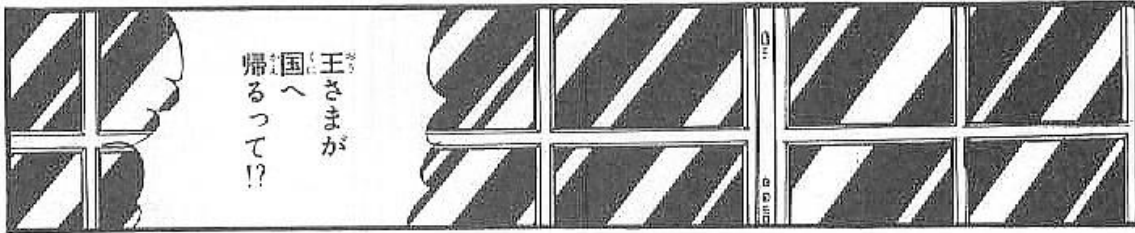
なにもかも誤解だ話し合えばわかる!
王さまー
戦争には反対なのか?
両国のためには平和共存が一番だ! 今度の戦争はわたしのせいじゃないぞ!!
撃つな!
わたしを殺しても なんの解決にもならんぞ!!
王さま
四世!……やめろ
王さま…戦争をおわらせてくれ二つの星のためにも
え…!?

ガタ
カタシ!
……
四世(フォース)……
四世(フォース)……
!!

王さま！
なにが!?
え!?
……！
あ…
石頭を呼んでくれ
王さま
彼はわたしを殺しにきたと言ったんだ
わたしをだ
わたしを！
わたしを！
わたしは死ぬのはいやだった
だけどこんなのはいやだ
もっといやだ！

…四世…!
われわれはなにもできなかったのか?
われわれはきみを追いつめたのか?
今はなにも語るな
今はなにも語るな

…早く
帰ってきて
…四世…

四世が殺されました
……彼にはバセヌカの
暗殺指令が出ていたのです
宇宙大学は遺体を
送ってきました
チュチュ…
見せて
早く……
見せて……!

前マヤ王パセスカに殺されたのです
ほおの冷たさ!
許さない!
バセスカ!!
国へ帰る
きみは指名手配中なんだぞ
逃げるのにあきた… わたしは国へ帰る
もう一度あのボートを操縦してくれないか
ドゥーズと西と東が追っかけてる最中にわざわざ
—

わたしは国へ帰る！ここでじっとしてると気が狂う！
王さま！
わたしは国を離れるべきじゃなかった！
王さま！
――わたしの星わたしの民！
わたしの土地わたしの城を捨ててくるんじゃなかった！
王さまが国へ帰るって!?
しかし追っかけられてるんだろう？
あれじゃとめたって聞かないさ
今度の事件は王さまのせいじゃないぜ…！
…ああ
……四世だってだれかに相談していれば
助けられたかも…！
……王さまの人生だ好きにするさ

ちょっと待てよ 帰るって…!?
フロル
じゃオレも いっしょに行く
いや あぶないから だめだ
なに 言ってんだよ
最初から まきこまれ てんだから このさい とことん つきあうよ
フロル ぼくは できる限り 王さまを守るけど どんな 事態になるか わからない
生命の保証はない 王さまだって ぼくだってだ
だからきみを 危険な目に…
ああ そう おまえそれで よくオレに 結婚もうし こめたな
オレが 0点とっても パイロットコースで がんばってんのは おまえとおなじ 船に乗って おなじ宇宙に 行くためだぞ
オレはおまえが 空飛んでるあいだ 帰りを待ってるなんて 絶対イヤだからな
わかったら なんとか言えよ
…じゃあ婚約を 解消しよう
つれて 行けない

おまえ勝手だぞ
タダ
タダ
タダ
タダ
おまえものすごく
困ったと
思ってるだろ
―うん――
オレついてくよ
おまえがあまいの
ちゃんと
知ってるもん
あーあ
タダ!

どうしたんだ? この船は…
ハリボテさ! 外側だけ作って くっつけた
ドゥーズが見張ってんだろ 目くらましさ!
途中まで送らせてくれよ …送りたいんだ アリトスカまで行けない われわれの……
四世への葬列だ……
外出許可の出てないボートが半ダース飛んでます!
ほっとけ
帰ってきたら 全員一週間のバツ当番だ!
ゾンブル司令! バセスカのボートが半ダース!
なに―っ
どれかが本物だ どれだ!

王さま
元気でな 命をたいせつにしろよ
ありがとう
幸運を祈る また会おうぜ
グッドラック……
グッドラック
グッドラック
一台だけワープしました
そいつだ! 追え!
司令…
緊急情報です——
なに!!
火種と火消しが動いてるらしいと—
調査できぬものはなにもないという銀河連邦のウルトラ情報部…
どっちだ? 火種の方か? 火消しの方か??
とにかくまずい…! われわれが東西の戦争をあおってるのがバレたら…
…なんとか… 裏をかかねば…

…昔むかし
ぼくは思っていた
国は美しく
人びとは豊かで
世は真理にみち
さえぎられぬ
広い未来図…
わたしが王位に
ついたとたん
たれ幕が
一枚ずつ
落ちるように
わたしを中心とした
ステージにむかって　多くの
問題があるのを知った
政治戦争
交易経済
財政資源
教育…
――だけど
タカをくくっていた
多くのものを
見なかった
摂政であった
パパ大臣は
議会の完全な
信頼をえていた
というのに
これから
やりゃあいい
しっかりしなよ
王さま！
これから…
ほんとうに
そうだ
わたしは安穏と
王座にすわって
いただけ
足もとを
すくわれてから
気がついた
わたしが…
ちゃんとやって
いれば
戦いを
おわらせて
くれ
四世を
あんな目に
あわせずに
すんだのだ

チュチュ！ なにをしているの なんてかっこうを！
わたし男の子に生まれればよかったわね
チュチュ！
四世に誓ったのよ総議会のテラスへ！わたしに剣を!!
わたしに銃を!!
殺人者バセスカに
死を!!
その少女に剣をわたせ！
指令を！総議長兄にかわってわたしが！
バセスカの首を！でなければ戦争だ
もうだまってないぞ

いさましい
姫ぎみだ
勝利の女神の
ようではないか
—おおこれは
ドゥーズのお客人
ところで
バセスカは
宇宙大学には
もういませんぞ
なんですって
東の地へ
帰りました
わたしの船で
追いかけたが
見失った
きっとまた
よからぬことを
たくらんでるに
ちがいない！
わたしは
おたくの味方
東へ行くなら
お送りしま
しょう
…和平使節が
殺されてから もう
八日目になるが
アマン伯のゆくえは
知れず
バセスカさま
には
逃げられ
おかげで
戦争は
宙ぶらりん
トマノさまが
王になって
ものごとが
スムーズに
いかない…
だいたい
今度の戦争は
まずかったん
じゃないか
どっちかと
いうと
反対した
かったんだが…
マヤの峰の
啓示をうけた
マヤの王に
ご不満でも
!!
シーーン

王に不満はないが…あなたの計画どおりことは少しも進まないではないか
ギョ
ゴー
ブーー
もう少し低く飛んでみてくれ！城のようすを見てみたい
これぐらいが限度だな
ワー
キーン
ななななんだ今の赤い小型機は！見たことのない型だぞ
大臣!! 西の総議長がドゥーズの大型船でやってきました
総議長が!?
ザワッ

前マヤ王パセスカが東の地に帰ったという
帰ってきた⁉
そうドゥーズの司令が知らせてくれた
いやいやわたしはただの交易船の船長ですどうも
センジャッド…
じゃ…さっきの見なれぬ赤い小型機が…
それだ
いったいおたくはなにをやっているのです
パセスカのゆくえも知らぬとはあの男をとらえる気があるのですかかくまっているのではないでしょうね⁉
帰ってきたのなら必ずとらえる！われわれも困っているのだ
とらえるとらえるといつまでに⁉
とにかく…早急に…！
よろしい！
二十四時間だけ待とう！西の議会はもうおさえがきかぬとこまできている！
二十四時間以内にパセスカを引きわたさせなければ

……残念ながら
……開戦です……！

二十四時間待っていただこう
必ず……！

つぎの食までに

二十四時間ですと！どうなさる要求をうのみにして
西は強気だ ドゥーズがついてるんだ

あの男はただの貿易商人じゃないぞ どうもくさい

西から大型の船が来たそうだ
いよいよ開戦かね
どうもゾッとせんなァ このままじゃ

ドン
とにかくなんでもいいからバセスカをつかまえる案をだせ!!

どこかに一味のかくれ場所があるにちがいない
どこにだ!
わからんーが教えてもらう
どうやって?
エサに
おびき出すのです
だからどうやって!エサでもつるすのか
オナどのを……
…どうも感度が悪いな…火消しのレッドに通信してるのだが
眠いだろう?先に寝たら
まだ午後の九時か
地下のアナグラだからだめなのかな
ニュースははいるんだ
西の総議長が東におめみえだとさチュチュユ姫とかいうのをつれて
…四世の妹だ

臨時ニュースをもうしあげます

法院の地下で眠っていた
オーセ法司長殺しの犯人オナ前次法司長が目覚めたので

明朝黒の塔へ移すことに決まりました
オナ!!

へんなニュースだ
アマン伯どう思われますこのニュース

わたしが考えたのならワナですなわれわれをおびき出すための
わたしなら法院をおそいますなオナどのを助けようと思ったら
ム

そんなニュースより王の一行は?東の地のどこらにいるのか連絡はまだつかないんですか
あんたは人集めの名人でしょう

名人とはね

名人ですよ われわれを こうして 一か所に集め さらにいろいろ 人をさがしてくる
たとえば そら 彼は？ 空から 落ちてきた
ああ あの 若者……

峠は越したから ……

…助けよう

早朝っていうと また日食 起きないかな！ まえオレら それで助け られたろ！
今はこの地方の 日食は夕方の 六時に起こるんだよ

黒の塔……

川べりをまた 通るのか？
そうだ

水でっぽうだ

オナとは
なに者ですの
バセスカの
一味です
この法院の
地下で
眠って
います

眠っている?
その人に
会ってみたいわ
このドアから
先へは
司祭しか
はいれないのです
チュチュ姫
用意は
いいか

では
ニセ物を
つかうわけ?
そうです
腕輪に
電波発信器を
しこんで

わたし
塔の上から
見てますわ
ご自由に

…ぶっそうな
オナどののようすは?
かわりありませんよ
いつ目覚めることやら
―いいえ　これでは
眠ったままが
いいのかも……
このかたが
殺人者だ
なんて…

お待ち
その
腕輪と
ヴェールを
およこし!
キャッ
ウグググ

そうだ なるべく顔をかくしておけ
さあ門から出ろ！
うまくやれよ！
うまく！
四世……
守って……！
ゴオオ
ザザザ
うふっ

ザザーッ
ざわーっ
！
ヌッ
ガターン
アップアップ
アップ
あまりスピードを出すな！ オナの息がつまるぞ
シールドで囲ってあるから大丈夫だよ
追手は？
今んとこない
ハアハア
ハア
さらわれました
うまいこと！

スー
…暗くなった
どこかの地下だ
カタン
着いたのだろうか
オナ!
オナ!

オナじゃない！おとりだ！
なんだこのがきゃあ
おはなしぶれい者っ
オナをどうした!?
人殺し!!
王さま
…ラジオで言ってた
西の地の姫ぎみだ
チュチュエリア九世ドリカス
……きみが

…かたきうちか わたしを殺しに来たのか
そうよ!
わたしのため! 西の地のため!
じゃ オナはまだ法院にいるのだな?
ええ いますとも! そして次の食までに おまえの首が出せないと開戦です!
開戦!
!
どう なにもかも思いどおりにいって!? この殺人者!!
このヤロ…
よしなさい
戦いはわたしの望みでも四世の望みでもない……
よして
兄の名を言わないで おまえごときが!!
わたしの命がほしければやろう
王さま
!
…今じゃない 次の食までにはよかれあしかれ決着がつこう
わたしは戦いがおわることにカケる
なにが起ころうと だ
そうだ 食までだ 食がすぎたら…
ほう おまえに約束をするほこりがあるの!

四世は
自分で頭をぶちぬいたんだぞ
王さまの目のまえで
フロル!
おやめ! なにを言うの…!!
兄は……
あかりのついた教室のまん中で!!
あんたの国に追いつめられて自殺したんだ
フロル!
ウソをおつき!! 和平使節だっておまえが
わたしのおじ… ローンおじも…
殺したのはドゥーズの連中だ!
オレたちはまのあたりに見てたんだ
ぬけぬけと… でたらめを…

だからもう
たくさんだ
血も剣も
銃も死人も!!
四世のためを
思うなら
家で
祈ってろ!
もう
よしなさい
フロル!
通信が
通じた!
レッド!?
火消しの
レッドか!?
王さまたちか
よく
帰ってきたな
無事か?
無事だ!
あまり時間がない
わかっている
こちらの
人数が
そろった
人数?
アマン伯らか!
もっといる
これから
山をおりる
アマン川に
そって合流
しよう
わかった!
レッドの
居場所が
わかった
アマン
伯も……
どうした
タダ
…発信器だ
近くに…

チュチュ姫！
ガチン
発信器!?
ええそう
もうおそいわ
そのとおり!!
王さま!!

失礼
姫！
近よるな！
近よると—

撃てばいいわ
兄さんを
そうしたように！

タダ……

姫
チュチュ姫！
ご無事で！
心配しましたぞ

フロル！
おまえね！
おまえ
友人に
目のまえで
自殺され
てみろ
つれて行け！

王さまは
戦争
おわらせる
ために
帰って来た
んだぞ！
四世の
遺言だったのに
メチャクチャに
しやがって
この
アホーッ

バセスカさまだ
バセスカさまが……
神の加護うすい前王！

やっと……
お帰りになったわけですなバセスカどの

トマノさまの
戴冠式が
のびのびになって
おります
この事件の
せいで
ワシ

ここにサインを
バセスカどの
王位を
トマノさまに
ゆずりわたす
証書です

――サイン!!
そんなもので
ことがすむと
思うのか!
さあ!

わたしを西へ
売るのなら
このまま売れ
サインなぞ
しない!

バセスカどの!

お見苦しい!
あなたも
トマノさまの
ために
ともった
マヤの火を
ごらんに
なったはず
トマノが
祈りの塔になど
行ってるものか

好きにすれば
いい!
だがわたしは
王だ!
ザワ……
マヤの
王だ!!

お客人をこれへ!
指を切れ!
フロル……
アウッ
サインをする!!
だ・れ・か…!
だれか!!

だれ…か
オナ…!!
この不安はなに
この悲しみはなに
世の中の空気の濁りはなに
さあ…!
ホーーッ
もちろんサインさえいただければお客人は大学へかえします
約束する

ギッ

よろしい！
ここにおいて
前王は
正式に…

ポ…

火が
うわっ

オナどの

わっ
あちっ
あちちっ
あち

オナどのが
目覚めたと
オナどの

なにをしている
タバコの火でも
飛んだのだ
新しい
証書をもて！
早くしろ！

マヤ王は
どこです
あのかたは

ザワザワ
ザワ
さあ！
もう一度！
ザワ
バタン
ザワザワ
バタン
ザク
ザワザワ
ザワ
バタン
大臣！
ええい
会議中だぞ！
オナ!!
なぜここへ
つれて来た！
とらえろ！
それが法院の
司祭全員が
あのかたの
まわりに火が
見えると言って…
ス

あの者ドゥマーとババをとらえよ
わたしの父司法長のオーセを殺す命令を出し真の王を追放し国民をいつわって戦いを起こした
ドゥマー!!
ふぬけめ
と と とらえろ
とらえろその女を!
ザワ
ザワ
トマノさま
ヒッ!!
ごめんなさいわしゃ塔に行ってないんだ
わしゃ酔ってたんじゃわしゃ…
バカもーん

なんてことだ
女一人に
おたついて!!
和平使節の
殺人犯を
いまさら
王にして
かばうのか!!

そうだ それを
忘れるな!!
総議長!
チュチュ姫!!

あれは八人の
和平使節を
殺した犯人!
あれは 姫
あなたの兄と
おじのかたき!
だまされるな

そんなところで
やめとくんだな

ローン
おじさま
チュチュ!

アマン伯!!
レッド
アマン伯!!
そちらこそがむほん人だね
そら
カラン!
このたびの事件のいっさいの情報テープだよ
今ごろはドゥーズの大統領や国会も手にしてるころだね
秘密情報部長官ゾンブル!
ドゥーズの情報部!!
そうかおまえが火消しの…
こんなところでのほほんとしてていいのかいゾンブルさんよ!

ほっとけ！
あわくって
国へ帰るん
だろうさ
ドゥーズの
司令！

ローン！
なにがあった！
おまえは
生きてたのか
どうやって
助かったのだ
総議長
雪のくぼ地に
たおれていたのを
白毛狩りの連中が
助けたんだ

…あまり
多くのことを
おぼえてない
のです
わたしが
おぼえているのは…

マヤの王
わたしは西の地より送られた
和平使節 使命をはたしに
こうしてまいりました

あなたは
疲れている
すわられるがよい

われわれは
和平を望んで
おります

和平に応ずる
……

ドゥマー法司長が自殺しました……ドクをふくんでたった今

パパ大臣は地下牢に
彼もいずれはそうなるでしょう

あなたが助けてくれたのです
え？　なにもしていない

でもわたしを呼ぶ声がした…
そしてわたしは目覚め王なる人のまえに進むことができたのです

大統領!!
いったい
おまえは
なんだ　なにを
していたんだ

この件に関しては
大統領はわたしに
まかせると……
しかし
極秘にやれ
とも言った

見ろ!
国会を
マスコミを
アリトヌカへ
きたない手を
出したといって
非難ごうごう

リコールだ!!
おまえがポカを
やらかした
せいだぞ!
国民の信頼を
失った!!

あなたの権威が
地におちるのなら
わたしは逃亡するしか
ありませんな
わたしもいい
教訓を得ましたよ
銀河連邦を
甘くみるなってね

失礼
ゾンブル!!

大統領
辞任しろ
きたないぞ
大統領
デモ
公開裁判だ
裁判!!

西と講和が結ばれた！
じゃ戦争はおわったのか
若いもんが帰ってくるな！
ドゥマーさまは自殺なすったって
いやオナさまを見たとたんショック死したと
やはりバセスカさまがマヤの王だったんだ
どうもトマノさまじゃたよりなくって
すまんすまんこのとおり
わしゃ酔ってたんだほんとだよ
…兄上
トマノさまはもう害がない
王 残るパパ大臣に白い水をわたしてください
オナどの
白い水!?
…自害用の水だ
オナどの…なにもそこまで
もちろん 水を拒否することもできる
その場合は裁判が開かれる

パパ大臣……
わたしこそがほんとうに国を憂えていたのだ！
あなたをおとしいれたのは悪かったが……
わたしのやりかたはまちがっていない！
手ぬるいとなにが起こるか！見なさい！ドゥーズや火消しやみんなアリトスカをねらっている！
おまえは——わたしの教師だった
ながの病気だった父のかわりに
わたしを育ててくれた…いろいろと教わった…
わたしはおまえが…
好きだった
わたしはマヤのためを思ってやったのです

王さま…
…わたしは以前マヤの王は死なぬと言った
守りを受けているかぎり
だがもし死にたい時にでも…死ねないでいるとしたら…

火だ
峰に火が……

火だ…この国に来て見るのは二度目だ
祈りの塔の近くにおられるのでしょう

なにを祈っておられるのか…

チュチュ姫…

そうだ この時間がきたらあなたに
わたしを好きにしていいと言いましたね

わたしを殺しますか?

…国へ帰るんです
そのまえに…
あなたに
あやまりたかったの

——ぼくたちは宇宙大学に帰ってきた
その後東西は何度目かの和平条約をさらにかたく結んだという
そうして二か月がすぎなんとしてるころ
ぼくたちは王さまの婚約を知らせる手紙を受けとった
へへーっ!
四世の妹と?!
うまくやったな
おいわいのてがみだぞう

＊おわり＊「続・11人いる！　東の地平 西の永遠」